

みずほ証券及び楽天証券ホールディングスによる 戦略的な資本業務提携の強化について

2023年11月9日

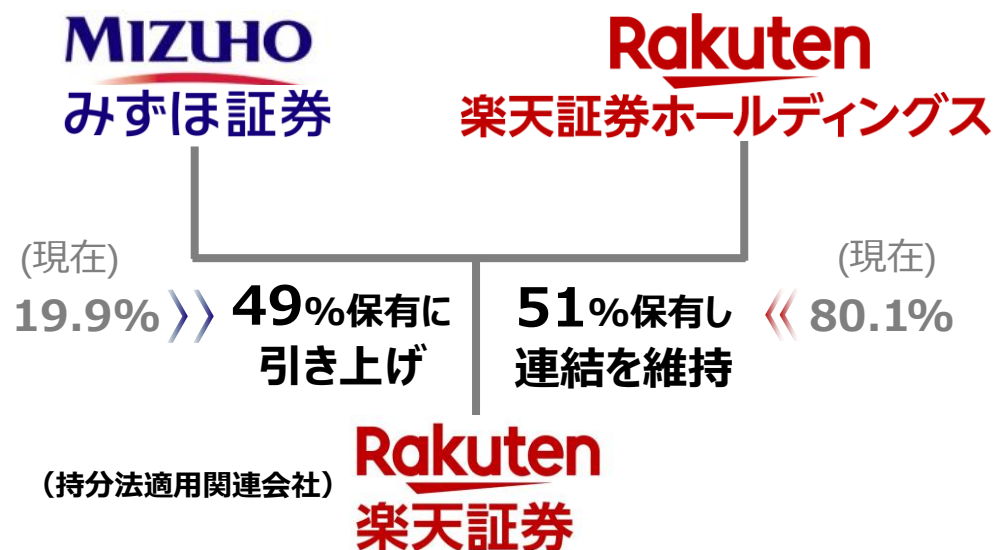
みずほフィナンシャルグループ

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

概要および主な提携内容

概要



－ 株式取得実行日：関係当局の承認等を前提として、2023年12月15日

財務影響

- － CET1比率*1影響：最大 ▲6bps程度
 - － のれん計上額：最大 約400億円強*2
 - － 出資額：約870億円
- (参考) 22年11月出資額：約800億円

*1: 新規制、その他有価証券評価差額金を除く *2: 今後CPAとの協議を踏まえ、のれん・無形資産の金額を決定

主な提携内容

オンライン・リアルを連携させ、お客さまのニーズを起点とした新しいリテール事業モデルの構築に向けた協働

項目	内容
お客さまニーズへ適切にアプローチ	■ 共同事業等を通じたオンラインのお客さまの対面コンサルティングニーズへの対応加速 ■ シームレスなUI/UXでオンラインとリアルを連携させた、これまでにはないサービスを提供するプラットフォーム構築
商品サービス力強化	■ 楽天証券のサービスと〈みずほ〉の決済等の総合金融機能を相互かつ円滑に利用できる利便性の高いサービスを提供 ■ お客さまのニーズを踏まえた最適な資産形成・運用商品等の開発・提供
IT・オペレーション	■ IT・オペレーション分野でのお客さま満足度とデジタル化による効率性向上

楽天証券ホールディングスとの資本業務提携強化により目指す姿

オンライン・リアルを連携させ、お客さま視点でこれまでにはない
新しい資産形成・資産運用サービスを作り上げる

〈みずほ〉の強み

2,400万
(個人顧客数)

対面による相談
(支店網)

コンサルティング
(FP1級・CFP1,790人)

強固な法人顧客基盤
とパートナーシップ

総合金融機能
(信託・リサーチ等)

お客さまがオンライン・リアルの双方を
活用できる新しいリテール事業モデル

対面相談
コンサル志向

デジタル
UI・UX志向

みずほ証券
みずほ銀行

楽天証券

共同事業会社

商品・サービス力共同検討

連携プラットフォーム

楽天の強み

1億超
(楽天ID発行数)

デジタル
(優れたUI・UX)

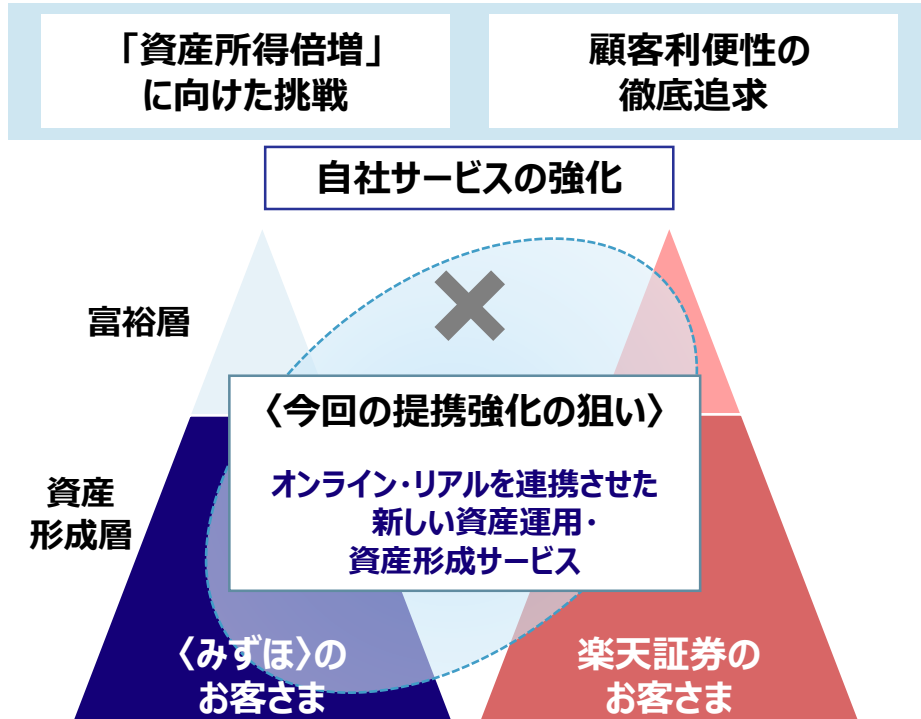
低コストチャネル

NISA総口座数
No.1シェア

楽天経済圏

中期経営計画における本提携の位置づけ

中期経営計画における注力ビジネステーマ



資産形成層へのアプローチ強化

〈みずほ〉単独では実現できない、新たな付加価値の提供

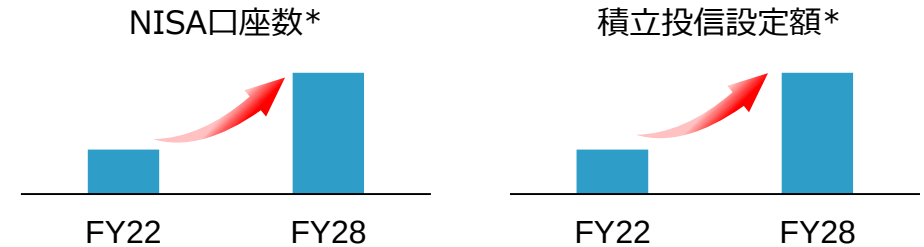
「将来不安のない長寿社会」
「安心・安全・便利の実現」に貢献

*みずほ銀行・みずほ証券と楽天証券の合算ベース

「資産所得倍増」に向けた挑戦

パートナーとの協働により、資産形成における業界内におけるリーディングポジションを目指す

両グループで圧倒的なNo1へ



顧客利便性の徹底追求

資産形成・資産運用における、魅力度の高い連携プラットフォーム提供により、〈みずほ〉としての非連続な顧客基盤の拡大を目指す

